



認知症本人ミーティング

本人同士が出会い、一緒に語ろう！

認知症の本人が集い、自分の体験や希望、必要としていることを話し、自分たちのこれからのより良い暮らし、くらしやすい地域のあり方を一緒に語り合う場です。

支援者も参加し、認知症の本人のニーズを地域で共有することで、地域における認知症の本人の社会参加や生きがいづくりを促進し、共生社会の実現を推進します。

開催頻度 : 2ヶ月に1回 偶数月 1~2時間程度
場所 : 県内東部、中部、西部地区それぞれで開催



Q 認知症になったらやっぱり大変？
A 希望を持って暮らせる工夫、方法があります

Q 認知症になっても趣味は続けられる？
A 一人では不安でも、仲間がいると安心してチャレンジできます



詳しくは「とっとり認知症ポータルサイト」の「相談支援、社会参加窓口等」から「認知症本人ミーティング」を御覧いただくか以下の連絡先へお問い合わせください。

鳥取県庁 長寿社会課 いきいき長寿推進担当
TEL : 0857-26-7177 FAX : 0857-26-8168
E-mail : choujyushakai@pref.tottori.lg.jp



主催：鳥取県認知症本人ミーティング実行委員会



実績

【本人ミーティングで出た意見】

- ・診断を受けてから支援機関に繋がるまでに時間がかかる
- ・診断を受けた後の不安な気持ちを誰かに受けとめて欲しい
- ・認知症本人として誰かの役に立ちたい



【ピアサポート事業の開始】

本人ミーティングで出た意見を受けて、認知症本人と家族によるピアサポート事業を2021年からスタート

令和5年度の内容

東部:

- ・(株)LIMNOと認知機能が低下した方も使用しやすいタブレットの製作のため、機能やデザインについての意見交換
- ・県立図書館において貸し出し用紙、案内表示のバリアフリー化への意見交換
- ・タクシーでのヘルプカード(認知症)の活用方法を議論
- ・鳥取市でのヘルプカードのデザイン等への意見交換
- ・イオンモールでの視察を通じた、バリアフリーに関する意見交換
- ・災害避難対応について鳥取市等との意見交換



本人ミーティング(東部)
ミーティング後の交流

中部:

- ・市内のコンビニエンスストアで買い物を行い、本人より意見聴取を実施し、県の企業との包括連携協定に基づくスローショッピング事業へ活用
- ・認知症本人の方が一緒に食事、写真館、鳴り石の浜をお出かけし、お互いの生活およびバリアフリーへの意見交換を実施



本人ミーティング(中部)
楽しい思い出語る

西部:

- ・日頃の買い物での店員、警備員等の対応を議論し、若年性認知症支援事業での個別支援へ繋げた。
- ・免許返納後の交通手段について境港市の事例を基に意見交換
- ・認知症の本人の手作りカヌー事業(「山陰ど真ん中」)の啓発活動についての意見交換



山陰ど真ん中(米子市)